

5 施設サービスの状況

(1) 要介護状態区別にみた単位数・受給者1人当たり費用額

各施設サービスの1年間の単位数は、介護福祉施設サービスが最も多く、次いで介護保健施設サービス、介護療養施設サービスとなっている（表11）。

また、施設サービス受給者1人当たり費用額をみると、いずれの施設サービスも要介護状態区分が高くなるほど費用額も高くなっており、特に介護療養施設サービスではその差が大きい（図9）。

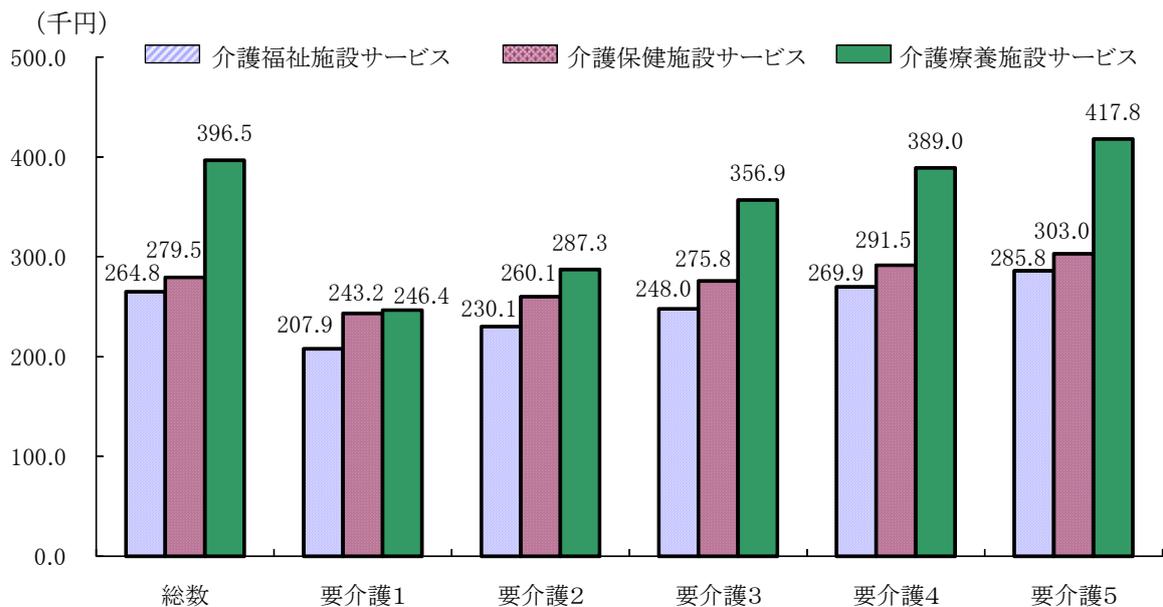
表11 施設サービス別にみた要介護状態区分別単位数

平成20年5月審査分～平成21年4月審査分

	介護福祉施設サービス		介護保健施設サービス		介護療養施設サービス	
	単位数 (千単位)	構成割合 (%)	単位数 (千単位)	構成割合 (%)	単位数 (千単位)	構成割合 (%)
総数	131 213 373	100.0	103 337 158	100.0	43 915 994	100.0
要介護1	3 307 621	2.5	7 130 914	6.9	334 357	0.8
要介護2	10 737 920	8.2	17 503 982	16.9	1 170 440	2.7
要介護3	26 924 350	20.5	28 964 156	28.0	4 484 707	10.2
要介護4	43 999 331	33.5	29 431 285	28.5	11 396 585	26.0
要介護5	46 113 381	35.1	20 191 535	19.5	26 524 293	60.4

図9 要介護状態区別にみた施設サービス別受給者1人当たり費用額

平成21年4月審査分



注：受給者1人当たり費用額 = 費用額 / 受給者数

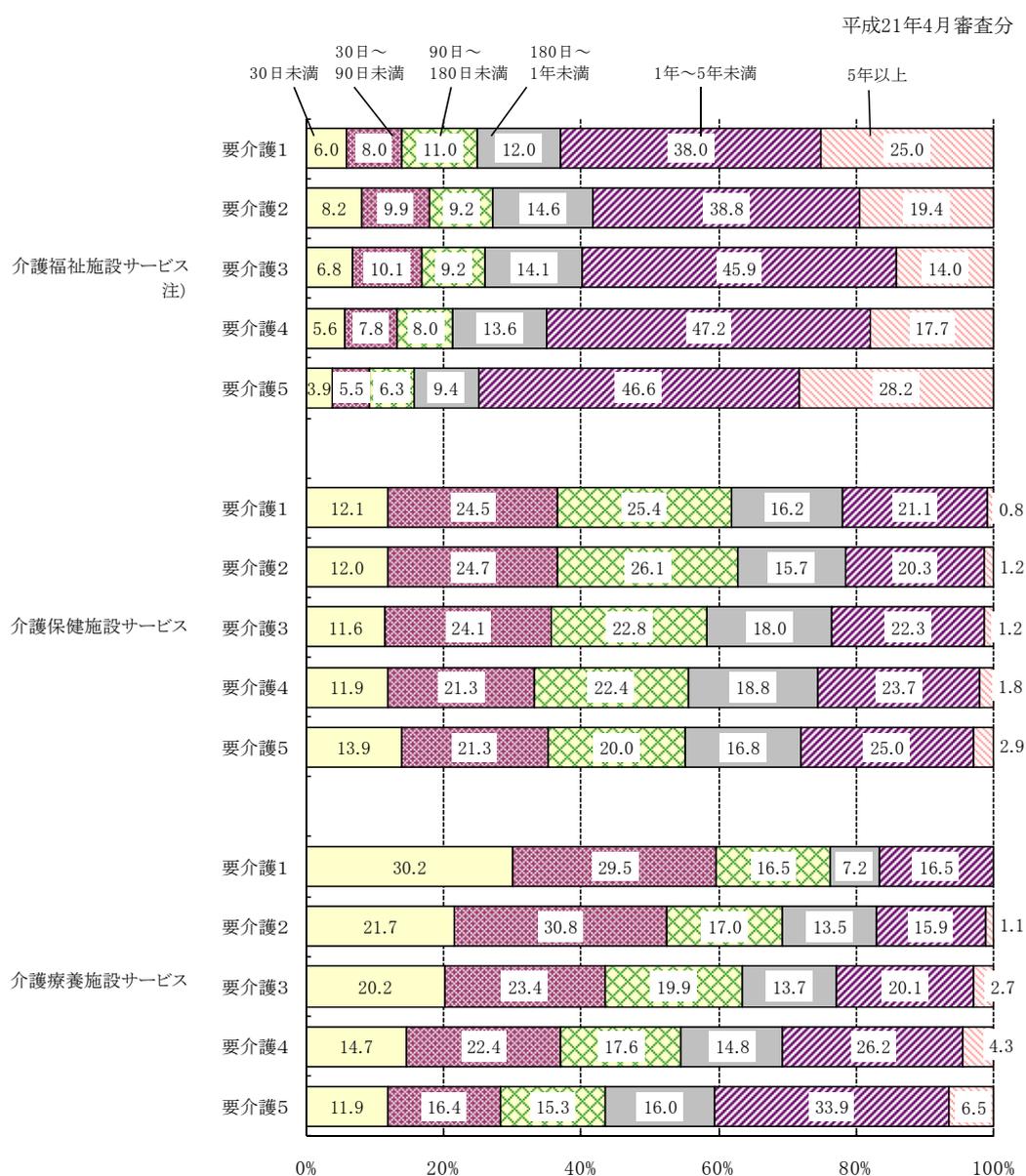
(2) 退所(院)者の入所(院)期間別割合

平成21年3月中に退所(院)した施設サービス受給者について、要介護状態区別に入所(院)期間の割合をみると、介護福祉施設サービスでは、いずれの要介護状態区分でも「1年～5年未満」が最も多い。

介護保健施設サービスでは、要介護1～要介護3では「30日～90日未満」及び「90日～180日未満」の割合が多いが、要介護4・要介護5では「1年～5年未満」の割合が最も多くなっている。

介護療養施設サービスでは、要介護状態区分が高くなるに従って「180日～1年未満」及び「1年～5年未満」の割合が多くなる傾向がみられる。(図10)

図10 施設サービス・要介護状態区別にみた退所(院)者の入所(院)期間別構成割合



注：介護福祉施設サービスには、地域密着型介護福祉施設サービスを含む。